

宿 泊 約 款

<本約款の適用>

- 第1条 株式会社伊賀ヒルホテルサンピア伊賀(以下、当施設という)の締結する宿泊契約及びこれに関連する契約はこの約款の定めるところによるものとし、この約款に定められてない事項については、法令又は慣習によるものいたします。
2. 当施設は、前項の規定に関わらず、この約款の趣旨、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応ずることができます。

<宿泊引受の拒絶>

- 第2条 当施設は、次の場合には宿泊の引受けをお断りすることがあります。

- (1) 宿泊の申込みがこの約款によらないものであるとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする方が宿泊に関し、法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊を希望する方が明らかに伝染病者であると認められるとき。
- (5) 宿泊者が泥酔者等で他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすと認められたとき。
- (6) 宿泊に関して、特別の負担を求められたとき。
- (7) 天災、事変、その他非常の事態の発生又は発生のおそれがあり関係各官公庁等より利用の中止命令又は勧告がなされたとき。
- (8) 当施設が天災その他の事故によって利用できなくなったとき。
- (9) 当施設の定める門限をこえてチェックインする場合及び事前に連絡もなく帰館する場合。
- (10) 三重県条例(旅館業法の施設について)に該当すると認められたとき。

※明らかに精神病患者と認められ、且つ適切な保護者のない者又は、泥酔者が宿泊される場合、又喧嘩し、他の宿泊者に危惧の念を抱かせ、若しくは安眠を妨害するおそれがあると認められる者

※宿泊しようとする者の健康状態、若しくは携帯品(とくに適法に許可されていない銃砲、刀剣類)等によって他の宿泊者に衛生上及び身体上の危惧の念を抱かせるおそれがある者。

<氏名等の明告>

- 第3条 当施設は、予約の申込みをお引き受けするに当たり、その予約の申込み者に対して次の事項の明告をもとめることがあります。

- (1) 宿泊者の住所、氏名、年令、性別、職業
- (2) その他、当施設が必要と認めた事項

<予約金>

- 第4条 当施設は、予約の申込みをお引き受けした場合には、期限を定めて宿泊期間(宿泊期間が3日間をこえる場合は3日間)の宿泊料金を限度とする予約金の支払いを求めることがあります。

2. 前項の予約金は、次条の定める場合に該当するときは同条の違約金に充当し、残額があれば返還いたします。

<予約の解除>

- 第5条 当施設は、予約の申込み者が予約の全部又は一部を解除したときは別表違約金規定により違約金を申し受けします。

2. 当施設は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後9時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、

その予約は申込み者により解除されたものとみなし処理することがあります。

3. 前項の規定により解除されたものとみなした場合において、宿泊者がその連絡をしないで到着しなかったことが、列車、バス等公共の交通機関の不着、遅延、その他宿泊者の責に帰さない理由によるものであることを証明されたときには、第1項の違約金はいただきません。

- 第6条 当施設は、他に定める場合を除くほか、次の場合には予約を解除することができます。

- (1) 第2条第1号から第10号までに核当することとなったとき。
 - (2) 第3条によって明告された事項が、故意に歪曲されたものと認められたとき。
 - (3) 第4条第1項の予約金の支払いを請求した場合において期限までにその支払いがないとき。
2. 当施設は、前項の規定により、予約を解除したときは、その予約についてすでに収受した予約金があれば返還します。

<宿泊の登録>

- 第7条 宿泊者は、宿泊当日、当施設のフロントカウンターにおいて次の事項を登録していただきます。

- (1) 第3条第1号及び第2号の事項
 - (2) 出発日及び時刻
 - (3) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (4) その他当施設が必要と認めた事項
2. 日本国内に住所を有しない外国人にあってはパスポートの呈示並びにコピー等をさせていただきます。

<チェックイン・チェックアウトタイム・門限>

- 第8条 宿泊者の利用時間は次の通りとします。

チェックインタイム 15:00
チェックアウトタイム 10:00
門限 24:00

2. 施設は前項の規定にかかわらずチェックアウトタイムをこえて客室の利用に応ずることがあります。この場合においては次に掲げる通り追加料金を申し受けします。

- (1) 12:00まで 室料金の30%
- (2) 12:00以降 室料金の100%

<営業時間>

- 第9条 当施設の各施設の営業時間は次の通りとします。

(施設屋内)

- (1) レストラン「花ごころ」
 - (ア) 朝食 7:00~9:00
 - (イ) 昼食 11:00~14:00
 - (ウ) 夕食 17:00~21:00(オーダーストップ20:00)
- (エ) ティータイム 9:00~11:00
14:00~16:00
- (2) 1F 売店 8:00~21:00
- (3) 集宴会室 9:00~21:00
- (4) 天然温泉「芭蕉の湯」
15:00~24:00 (23:30受付終了)
翌6:00~9:00 (8:30受付終了)
(温泉清掃時間 9:00~11:00)
- (レジャー施設)
 - (1) テニスコート(屋内1面・屋外4面)
9:00~22:00
 - (2) プール(夏期のみ) 10:00~17:00



2. 第1項の時間は臨時に変更することがあります。

<利用料の支払>

第10条 利用料の支払いは、通貨又は当施設が認めた有価証券により、宿泊者の出発の際、又は当施設が請求したとき当施設フロント会計において行なっていただきます。

2. 宿泊されるお客様が宿泊のご登録後、任意に宿泊しなかった場合においても、利用料は申し受けます。

3. 都合によりご到着時にお預り金を申し受けることがございますのでご了承ください。

<利用規則の厳守>

第11条 宿泊者は、当施設内においては、当施設が定める利用規則に従っていただきます。

<宿泊継続の拒否>

第12条 当施設はお引き受けした宿泊期間中といえども、次の場合には宿泊の継続をお断りすることがあります。

(1) 第2条第3号から第10号までに該当することとなったとき。

(2) 前条の利用規則に従わないとき

<宿泊の責任>

第13条 当施設の宿泊に関する責任は、宿泊者が当施設フロントのカウンターにおいて宿泊の登録を行った時、又は客室に入った時のうち、いずれか早い時に始まり、出発するため客室をあけた時に終わります。

2. 当施設の責に帰すべき理由により宿泊者に客室の提供ができなくなったときは、天災その他の理由により困難な場合を除き、その宿泊者に同一又は類似の条件による他の施設を斡旋します。

この場合には、客室の提供ができなくなった日の宿泊料金を含むその後の宿泊料金はいただきません。

3. 宿泊者が当施設に掲示した利用規則に従わない為に発生した事故に関しては、当施設はその責は負いません。

<損害賠償請求>

第14条 宿泊者が故意又は過失により当施設の施設設備、備品等を滅失又は棄損したときは、当施設は宿泊者に対し損害賠償の請求を行うことがあります。

2. 当施設は宿泊者から寄託を受けた物品(貴重品を含む)でなければ滅失又は棄損につき損害賠償の責任は負いません。

<当施設の非賠償責任>

第15条 第2条第3項～第10項、第5条、第6条により宿泊利用の中止又は、予約の解除によって、利用者が損害を受けた場合においても、当施設はその損害を賠償する責任を負いません。

2. 当施設の責によらない第三者による火災、停電、その他の事故によって損害を受けた場合においても、当施設はその損害を賠償する責任を負いません。

<駐車場の責任>

第16条 宿泊されるお客様が当施設の駐車場をご利用になる場合、車両キーの寄託いかんにかかわらず、当施設は場所をお貸しするものであって、車両の管理、責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当施設の故意、又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

●●予約取消し手数料申し受け規定●●

1. 予約の全部を取り消されたとき。

(1) 14名以下の場合

(ア) 宿泊日の4日前までに取り消されたとき。

無料

(イ) 宿泊日の3日前から2日前に取り消されたとき。

宿泊料の30%(室料・食事料)

(ウ) 宿泊日前日に取り消されたとき。

宿泊料の50%(室料・食事料)

(エ) 宿泊日当日に取り消されたとき。

宿泊料の100%(室料・食事料)

(オ) 予約していたにもかかわらず当日連絡なく不泊のとき。

宿泊料の100%(室料・食事料)

(2) 15名以上の場合

(ア) 宿泊日の10日前までに取り消されたとき。

無料

(イ) 宿泊日の9日前から4日前に取り消されたとき。

宿泊料の30%(室料・食事料)

(ウ) 宿泊日3日前から2日前に取り消されたとき。

宿泊料の50%(室料・食事料)

(エ) 前日に取り消されたとき。

宿泊料の80%(室料・食事料)

(オ) 宿泊日当日に取り消されたとき。

宿泊料の100%(室料・食事料)

(カ) 予約していたにもかかわらず当日連絡なく不泊のとき。

宿泊料の100%(室料・食事料)

予約申込人数	予約取消を受けた日				
	不泊	当日	前日	3日前	9日前
14名以下	100%	100%	50%	30%	
15名以上	100%	100%	80%	50%	30%

2. 予約の一部を取り消されたとき。(減員の場合)

(1) 予約申込み人数が14名以下の場合

(ア) 宿泊日の9日前から2日前までに取り消されたとき。

(減員人数について) 無料

(イ) 宿泊日の前日に取り消されたとき。

(減員人数について) 宿泊料の30%(室料・食事料)

(ウ) 宿泊日の当日に取り消されたとき。

(減員人数について) 宿泊料の100%(室料・食事料)

(2) 予約申込み人数が15名以上の場合

(ア) 宿泊日の9日前から2日前までに取り消されたとき。

(減員人数について) 宿泊料の10%(室料・食事料)

(イ) 宿泊日の前日に取り消されたとき。

(減員人数について) 宿泊料の30%(室料・食事料)

(ウ) 宿泊日の当日に取り消されたとき。

(減員人数について) 宿泊料の100%(室料・食事料)

予約申込人数	予約取消を受けた日			
	当日	前日	3日前	9日前
14名以下	100%	30%		
15名以上	100%	30%	10%	10%

3. 特殊な場合

上配1及び2に該当しない場合、予約者と当施設との間で話し合いの上、違約金を決定する。



Terms and conditions for accommodation contracts

(Provisions)

Article 1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 2 The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (5) When the Guest's behavior disturbs other Guests.
- (6) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
- (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
- (8) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and or other causes of force majeure;
- (9) When the Guest returns after closing time without noticing the Reception in advance or wants to check in after closing time.
- (10) When the provisions of Article of Prefectural (Mie prefecture) Ordinance is applicable.

*The Hotel shall refuse accommodation to any person presenting signs of psychological disorder and being without proper assistance, not acting in a sober manner, representing any danger for other Guests, or disturbing other Guests' sleep.

*The Hotel shall refuse accommodation to any person susceptible of carrying infectious disease, or any person whose belongings include guns, drugs or any other hazardous and illegal items.

(Notification of personal details)

Article 3 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with this Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name, age, gender, occupation and address of the Guest(s);
- (2) Accommodation Charges (based, in Principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the attached Table No.1).

(Accommodation Charges)

Article 4 When a Contract for Accommodation has been concluded, the Guest might be requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.

2. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the

Cancellation charges and thirdly for the reparations if applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 5 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel;

2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable, the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Cancellation Charge article.

3. In the case when the Guest does not appear by 9 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival in the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

4. In case when the Guest's arrival is delayed without notifying the Hotel in advance and is due to obvious transportation problems or any other unavoidable cause, the Guest shall not be liable for the delay and shall not be charged by the Hotel.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

Article 6 The Hotel might cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the Guest's behavior complies with Article 2 from Paragraph 1 to 10,
- (2) When the facts presented under Article 3 have been intentionally altered.
- (3) When the Guest did not pay the deposit in due time as stated under Article 4, Paragraph 1.

2 In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received

(Registration)

Article 7 The Guest shall register the following particulars at the front desk the Hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
- (2) Date and estimated time of departure; and
- (3) Nationality, passport number, port and date of entry in Japan
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. All Guests of foreign nationality who do not reside within Japan will be asked to leave a photocopy of their passport with the Front Desk

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 8 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel as follows:

- Check-in time; from 3 p.m.
- Check-out time; until 10 a.m.
- Lock out time; 12 midnight.

2 The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same paragraph, In this case, extra charges shall be paid as follows:

- (1) Up to 2 hours: 30% of the room charge;
- (2) More than 2 hours: 100% of the room charge

(Business Hours)

Article 9 The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows:

'Restaurant "Hanagokoro"

Breakfast: From 7:00 to 9:00a.m.;

Lunch: From 11:00a.m to 2: 00p.m.;

Dinner: From 5:00 to 9:00p.m (last order: 8: 00p.m.);

Teatime: From 9:00 to 11:00a.m; From 2:00 to 4: 00p.m.;

Kiosk opened from 8:00a.m to 9: 00p.m.;

Hot spring "Bashou-no-yu" opened from 6 to 9a.m.;

and in the afternoon from 3p.m to 12a.m.;

Conference room opened from 9 a.m. to 9 p.m.;

Tennis court opened from 9 a.m. to 10 p.m. (1 indoor court and 4 outdoor courts);

Swimming pool (only in summer) opened from 10 a.m. to 5 p.m.;

2. The business hours specified in the preceding paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 10 Accommodation Charges, etc. shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.

2. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities which have been provided for him by the Hotel and are at his disposal.

3. There might be cases where the Guest will be asked to pay Accommodation Charges at the time of his arrival.

(Observance of Use Regulations)

Article 11 The Guest shall observe the Use Regulations established by the Hotel.

(Termination of the Contract of Accommodation)

Article 12 The hotel is entitled to terminate the Contract of Accommodation if the Guest acts as follows:

(1) Behaviors as defined under Article 2, from paragraph 3 to 10.

(2) Not comply with the above stated rules.

(Liability)

Article 13 The Hotel's liability towards the Guest starts either from the checking in of the Guest or from his entering into the guest room, and ends with departure of the Guest.

(2) When the Hotel is unable to provide accommodation due to malfunction of the facilities, or any reason except natural calamities and/or other causes of force majeure, the Hotel shall help provide the Guest equivalent accommodation. In this case, the Guest shall not have to pay any accommodation fee for this Hotel.

(3) The Hotel shall not be liable for any accident caused by the Guest's disregard of the instructions concerning the use of the Hotel's devices or facilities.

(Liability of the Guest)

Article 14 The Guest shall compensate the Hotel for any damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

(2) The Hotel shall not be liable for the loss or damage of the Guest's articles of value if the Guest had not deposited the Articles of value at the reception.

Article 15 Under circumstances as stated in article 2 clauses 3 to 10, article 5 and article 6, the Hotel shall not be liable for any prejudice suffered by the Guest, such as cancellation of the booking or early termination of the Accommodation Contract.

(2) The Hotel shall not be liable for any damage due to any external incident such as power outage, arson, etc.

(Liability in regard to Parking)

Article 16 The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

(Cancellation charge for hotel)

1. Cancellation of the whole reservation:

(1) From 1 to 14 persons

a) When the cancellation of the reservation was made before 4 days prior to accommodation day.

No charge.

b) When the cancellation of the reservation was made between 3 and 2 days prior to accommodation day.

30% of the total estimated charges.

c) When the cancellation of the reservation was made 1 day prior to accommodation day.

50% of the total estimated charges.

d) When the cancellation of the reservation was made on accommodation day.

100% of the total estimated charges.

e) No-show without notice

100% of the total estimated charges.

(2) 15 persons and more

a) When the cancellation of the reservation was made before 10 days prior to accommodation day.

No charge.

b) When the cancellation of the reservation was made between 9 and 4 days prior to accommodation day.

30% of the total estimated charges.

c) When the cancellation of the reservation was made between 3 and 2 days prior to accommodation day.

50% of the total estimated charges.

d) When the cancellation of the reservation was made 1 day prior to accommodation day.

80% of the total estimated charges.

e) When the cancellation of the reservation was made on accommodation day.

100% of the total estimated charges.

f) No-show without notice

100% of the total estimated charges.